

## 地域とともに児童の健やかな成長を支えるPTA活動

小牧市立村中小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、明治6年に創立され、140年以上の長い歴史を持つ。児童数は380名、学級数は16学級（通常学級13、特別支援学級3）、PTA会員数は293名で、市内では中規模の学校である。



【運動場から校舎を臨む】

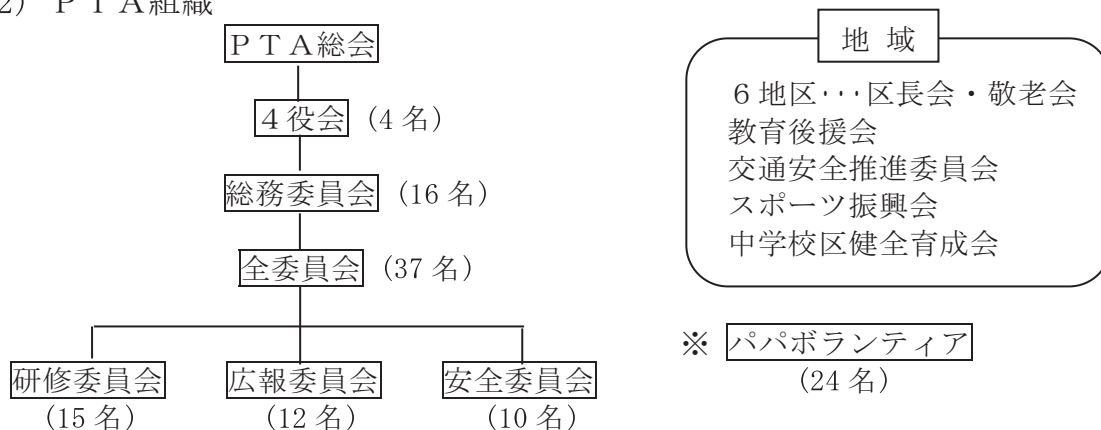
小牧市北西部に位置する校区は6地区から構成され、古くは田畑が一面に広がるのどかな田園地帯であった。しかし、戦後、南北に国道41号線が、東西に国道155線が開通し、さらには東名・名神高速道路へつながる小牧インターチェンジも完成したことから、校区内には倉庫群が増え、交通及び物流の要所へと変貌した。そのため、交通安全には常に不安を抱えている。地域には、何代にもわたってこの校区に住み、父母や祖父母も本校の卒業生であるという方が数多くいらっしゃるため、日頃から学校教育には深い理解と協力をいただいている。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

児童の健全な育成のためには、家庭・学校・地域が日頃からつながり合い、同じ方向を向いて一緒に教育活動や児童支援に取り組んでいくことが不可欠である。そこで、本校PTAは、「地域とともに児童の健やかな成長を支えるPTA活動」をテーマに、これまで以上に家庭・学校・地域が手を取り合い、幅広い年代の人達が子どもたちとかかわり合いながら見守りや支援をしていくPTA活動をめざして、研究を進めることにした。

#### (2) PTA組織



### 3 実践活動の概要

#### (1) 交通安全への取組

##### ① 交通安全対策会議の開催

###### ア 内容及び参加者

毎年6月に、PTAが行う通学路点検の結果をもとにして、関係機関へ通学路の不備の報告や危険箇所の改善等の要望を直接行っている。

PTA・学校側からは、PTA委員（4役・地区代表・安全委員）、教育後援会長、各地区の区長及び交通安全推進委員、交通安全指導員、教員の約35名が、関係機関としては、小牧警察署、名古屋国道維持出張所、尾張建設事務所、小牧市役所市民安全課、道路課、小牧市教育委員会から約10名が参加し、来賓も加えると総勢50名前後の大きな会となっている。今年度も、児童や地域の方々の安全を守るために、白熱した議論が交わされた。



【交通安全対策会議】

###### イ 要望事項（平成28年度）

- ・交通安全看板の新設、取換…………… 16箇所
- ・横断歩道や停止線等の塗り直し…………… 7箇所
- ・道路標識の新設、改修…………… 7箇所
- ・通学路の舗装、修繕…………… 6箇所
- ・ガードレールやラバーポールの設置…………… 6箇所
- ・樹木や草木の伐採…………… 4箇所
- ・信号の設置…………… 1箇所

###### ウ 昨年度までの主な成果

- ・歩道橋の設置、改修
- ・自動車用点滅標識の設置（県内初）
- ・ゾーン30地区の認定
- ・押しボタン式信号の設置

上記のように、PTA・学校・地域が一体となって、何年も継続して要望を出し続けることで、児童の安全を守る多くの施策が実現してきた。



【県内初の点滅標識  
～国道41号線～】

##### ② 登下校時の見守りの実施

###### ア 通学路パトロールボランティア

交通量の多い環境の中でも児童の安全が確保されているのは、約40名いるボランティアさんの力が大きい。自動車や不審者から児童を守るための活動はもちろんのこと、喧嘩の仲裁をしてくださったり、学校での出来事を子どもに寄り添って聴いてくださったりと、児童に積極的に関わってくださっている。

中には、入学式の前日に新入児のためにと通学路のゴミ拾いをしてく

ださったり、年に何度も通学路の草刈りをして  
くださったりする方もいる。さらに、懇談会な  
どの場では、学校教育への率直な意見や、通学  
班や地域での児童の様子について具体的な情報  
を寄せてくださるので、PTAも学校も大変助  
かっている。



【気持ちよく  
登校できるように】

#### イ PTA・教員による立哨指導

毎月0の日に、保護者が通学路上の危険箇所  
に交通安全旗を持って立ち、児童の安全な登校  
と元気なあいさつを呼びかけている。教員も別日に実施している。

### (2) 生活安全への取組

#### ① あいさつ運動の推進

年に2回、PTAあいさつ運動を実  
施している。今年度は、小牧市青少年  
健全育成市民会議主催の「笑顔でさき  
がけ あいさつ運動」と日程をそろえ、  
区長さんや民生・児童委員さんらとと  
もに、登校してくる児童に気持ちの良  
いあいさつを呼びかけた。



【地域の方とあいさつ運動】

#### ② 生活パトロールの実施

校区内には映画館やボウリング場な  
どの遊戯施設があるため、夏休み中に、PTA安全委員が生活パトロー  
ルを実施している。冬休み前には、児童が進学する3つの中学校の青少  
年健全育成会議に参加したPTA役員が、それぞれの地域の方と一緒に  
パトロールを行っている。

### (3) PTA・学校・地域の行事での取組

#### ① PTA行事の中で

毎年夏休みの夕方から夜にかけて学校で行う「村中フェスタ」は、児童  
がとても楽しみにしているPTA最大の行事である。PTA委員が手分け  
をして出す夜店はもちろんのこと、パパボランティアによる本格的なお化  
け屋敷やフィナーレを飾る打ち上げ花火などがあり、毎年700名近くの参  
加者でにぎわう。2年前からは地域の方が講師となるブースも加え、今年  
はバルーンアートやトランポリンの体験ブース、おにぎりや飲料などの販  
売店が並んだ。当日のPTA委員は猫の手も借りたいほどの忙しさである  
が、本校の卒業生である中学生ボランティアが運営に加わることで大  
変助かっており、また中学生自身の学びの場ともなっている。



【村中フェスタ 2016】

## ② 地域学習や学校行事の中で

児童には、地域へ出かけて学習する機会が数多くある。訪問先では、地域の方が講師になり説明してくださったり、体験させてくださったりする。また、保護者も引率ボランティアとして加わり、行き帰りの安全の見守りや、訪問先での見学のサポートをしている。こうした経験を通し、子どもたちは自分が住む地域について

深く理解するとともに、自らの生活が、親や先生だけでなく、地域の方々にも様々な面で支えられていることに気付く機会となっている。

学校行事でも、地域の方と交わる場を意識的に作っている。例えば、運動会では、来賓や敬老会等の地域の方にも自由に参加していただけるプログラムがあり、交流に一役買っている。また、運動会後の片付けにはパパボランティアも力を貸してくださり、大変助かっている。

## ③ 地域行事の中で

毎年5月には、スポーツ振興会主催で地区対抗の校区運動会が盛大に開かれる。また、各地区でも、三世代が交流する場として、夏祭りや運動会、文化祭などがいろいろ開かれている。PTAは、いずれの行事にも保護者の立場や子ども会役員の立場などで関わり、児童は地域行事に楽しく参加しながら、お年寄りを含む地域の方々と親しくふれ合っている。

## (4) 積極的な情報発信

保護者はもちろん地域の方からもPTA活動に理解と支援がいただけるよう、年に2回、PTA新聞を発行して活動の様子を紹介している。その内容は、学校教育をサポートする「本の読み聞かせ」「学用品リサイクル」「資源回収」、保護者自身が研修を深めるための「社会見学」「心イキイキ学級」など多岐にわたる。ホームページを通じての情報発信も日々行っている。

## 4 おわりに

地域行事へ進んで参加している6年児童の割合は88%で、県(70%)や全国(66%)の平均に比べるととても高い(全国学習状況調査より過去3年間の平均値)。これは、家庭・学校・地域が互いのつながりを大切にしながら子どもたちの成長を支援する活動を重ねてきた成果だといえる。また、地域の清掃活動にボランティアとして進んで参加したり、地区のイベントに自ら出演や出品をしたりする児童も出てくるなど、地域で自分たちの力を発揮していこうとする姿も見られ始めている。今後も、家庭や学校で身に付けた力を地域で生かし、将来的に地域を支えていける児童の育成を目指して、PTA活動を充実させていきたい。



【2年生の校区探検】



【区長さん達と一緒に  
ボランティアで公園掃除】